

国際シンポジウム

多言語(中国語・韓国語・日本語)同時学習支援 — 東アジアのコミュニケーション基盤の確立へ向けて —

歴史や文化に関する日本・韓国・中国・台湾間の真の相互理解を深めるためには、英語だけでは不十分で、日本語・韓国語・中国語を共通語とするコミュニケーション基盤を確立することが最も望ましいと私どもは考えます。次のような目的を設定して、このシンポジウムを企画しました。参加者の皆様との議論を通して、この目的の実現に向けた新たな一歩を踏み出せればと思っています。

- (1) 日本語・韓国語・中国語を共通語とする東アジアのコミュニケーション基盤の構築に寄与するために、多角的な観点から「多言語(日本語・韓国語・中国語)同時学習支援」プログラムの研究・開発に着手すること。
- (2) 多言語同時学習支援という観点から、日本語教員養成を捉え直し、その新たな教育内容についての提言を行うこと。

日時：2006年7月8日(土) 9:30 a.m. - 5:00 p.m.

場所：ホテルマリックス(宮崎市千草町15-8)

主催：宮崎大学大学院「日本語支援教育専修」・JAPANESE ASSOCIATION OF MULTILINGUALISM

協力：(財)みやざき観光コンベンション協会

9:30 a.m. 受付

10:00 a.m. 開会の辞 住吉昭信(宮崎大学学長)

10:10 a.m. 基調講演Ⅰ 「多言語同時学習支援プログラムの開発へ向けて」 岡林稔(宮崎大学)

11:00 a.m. 基調講演Ⅱ 「中国・延辺大学での多言語同時学習支援の取り組み」 金哲会(延辺大学)

11:50 a.m. - 昼食 -

1:30 p.m. 講演Ⅰ 「韓国における多言語同時学習の現状と可能性」 朴潤鎬(順天大学校)

2:10 p.m. 講演Ⅱ 「台湾における多言語同時学習の現状と可能性」 朱廣興(東呉大学)

2:50 p.m. - 休憩 -

3:00 p.m. 【パネルディスカッション】

多言語(中国語・韓国語・日本語)同時学習支援 — 東アジアのコミュニケーション基盤の確立へ向けて —

コメンテーター：平瀬清、井上修一、藤井久美子(以上、宮崎大学)

パネリスト：岡林稔(宮崎大学)、金哲会(延辺大学)、朴潤鎬(順天大学校)、朱廣興(東呉大学)

4:45 p.m. 総括及び提言 長友和彦(宮崎大学)

5:00 p.m. 閉会の辞 作田俊美(宮崎大学教育文化学部長)

6:00 p.m. 懇親会

問い合わせ先：宮崎大学大学院教育学研究科学校教育専攻「日本語支援教育専修」長友研究室

Tel/Fax:0985-58-7570 E-mail: nagatomokz@cc.miyazaki-u.ac.jp